

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

■設定のしかた

・凍結防止の前に

リモコンで、「オート便器洗浄」「オートふた開閉」を「切」にしてください。



約10分間隔で便器洗浄

約5分間隔でノズル付近から水が出る

■凍結防止中のウォシュレットの動作

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)

オート便器洗浄

1. **メニュー/戻る** (MENU/RETURN) ボタンを押す
2. **オート機能** を選ぶ
3. **オート便器洗浄** を選ぶ
4. **オート設定** を選ぶ
5. **入/切** を選ぶ

自動で便器洗浄する/しない
オート設定

オートふた開閉

1. **メニュー/戻る** (MENU/RETURN) ボタンを押す
2. **オート機能** を選ぶ
3. **オートふた開閉** を選ぶ
4. **オート設定** を選ぶ
5. **入/切** を選ぶ

自動で便ふたを開閉する/しない
オート設定

■ご使用のタイプを選択してください



| 凍結予防方式 | 便器品番 |
|----------------|----------|
| 流動方式 | 品番に「H」なし |
| ヒーター付便器・水抜併用方式 | 品番に「H」あり |

流動方式

ヒーター付便器・水抜併用方式

流動方式（ヒーター付便器・水抜併用方式以外）

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

リモコン画面

この表示画面での設定

メニュー/戻るボタン

で項目の種を動かし、

で設定を選び、

で決定する

- 1 メニュー/戻る MENU/RETURN 押す
- 2 上 で「その他設定」を選ぶ 右 押す
- 3 下 で「凍結防止」を選ぶ
- 4 左 で「入/切」を選ぶ






便器とウォシュレットの水を一定の間隔で自動で流す
凍結防止

<「入」に設定する場合> 設定すると約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。

10分間隔で 便器洗浄し 設定する? はい いいえ

凍結防止を 入に設定しました (戻るとき ← メニュー/戻る)





ヒーター付便器・水抜併用方式

- 1 水抜栓を操作して、給水を止める
お願い
 ・止水栓は開けたままにしておいてください。
 (製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)

 - 2 ノズルから水を押し出す
 ・ノズルカバーが開く(給水管の圧抜き)

 - 3 電源プラグを抜く
 - 4 配管の水を抜く
 ①カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす
 ・給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめたあと、引っ張る

 ②水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける
 ・給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める

 - 5 電源プラグを差し込む
 ・「運転」ランプが点灯する
 - 6 すっきりパネル(右)を取りはずす

 - 7 タンクの水を抜く
 ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照
 - 8 便座温度を「高」にする
 ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく
再度ウォッシュレットをお使いになるときは
 ・再通水が必要です。
- お知らせ**
 ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
 ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。




別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。
 (タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

ご注意 ・「お掃除リフト」で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1 ■流動方式のとき
 止水栓または元栓を開める
 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
 水抜栓を操作して、給水を止める
お願い
 ・止水栓は開けたままにしておいてください。

- 2  を押してタンクの水を抜く^{*1}
- 3 ノズルから水を押し出す
 ・ノズルカバーが開く(給水管の圧抜き)

- 4 電源プラグを抜く
- 5 配管の水を抜く
- 6 水抜きレバーを引き出す
 ・ノズル付近から水が出る(約20秒)

- 7 手を離し、水抜きレバーを元に戻す
- 8 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のみ
 便器内のタンクの水を抜く
 ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照
凍結のおそれがあるときは
 ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
 (不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)
再度ウォッシュレットをお使いになるときは
 ・再通水が必要です。

再通水のしかた

- 1 止水栓または元栓を開ける (P.13)
 または、水抜栓を操作して、給水する
 ・配管やウォッシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
 - 2 電源プラグを抜いているときは
 電源プラグをコンセントに差し込む
 ・「運転」ランプが点灯する
 - 3 ①ノズルから水を出す
 (1) 便座の左側を押したまま、
 (2) リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
 ・水は紙コップなどで受けてください。
 (3) リモコンの「止」ボタンを押す
 ②  を押す^{*1}
 ・便器に水を流しながらタンクに給水します。ウォッシュレット本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります(最大約80秒)。
 ※給水が完了するまで便器洗浄できません。タンク給水中はすべての操作をしないでください。
残水が凍結して水が出ないとき
 ・トイレを暖め、お湯に濡した布で給水ホースと止水栓を温める
 - 4 便器に水がたまってから、もう一度  を押す^{*1}
- 

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているときは、便ふたが開まったあと便器洗浄します。